

事業評価シート（平成25年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	ノンステップバス推進事業		
事業担当	まちづくり政策部 交通政策課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'05	基本目標5 安全で、みんなが快適に暮らせるまち	
	'03	③<利便性> 誰もが快適に利用できるよう、公共施設などの利便性を高める	
	'03	3 まちの活動に活力をもたらす公共交通の利便性を高める	
根拠法令等	地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱		
対象・受益者	バス利用者	事業期間	平成20年度 ~
委託、協働	【委託: 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働: 】		
	目的・目標		事業の概要
誰もがバスに楽に乗り降りでき、平塚駅や周辺の目的地への移動の利便性・安全性が向上しています。		バスを利用した移動の利便性や安全性の向上を図るため、ノンステップバスを導入する際、国と市で補助し、市内を運行するバス車両のバリアフリー化を推進します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	ノンステップバス導入台数			単位	台
	説明・算定式					
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	目標	5	6	6	11	
	実績	5	6	6		
活動指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	目標					
	実績					
成果指標①	指標名	ノンステップバス導入率			単位	%
	説明・算定式	平成32年までに導入率70%を目標とした達成率				
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	目標	12	16	19	26	
	実績	12	15	19		
成果指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	目標					
	実績					
進捗状況	①：予定どおり					
	遅れている理由					
平成25年度の主な取組と成果						
国の補助に準じ、バス事業者に対しノンステップバス6台の導入を補助しました。						
平成25年度の検証結果	A：成果があがった					

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	誰もがいつでもどこへでも気軽に移動できるモビリティ整備を望む声は多く、国の補助制度と連携し、ノンステップバスの導入を促進する必要があります。	● 高 ○ 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	誰もがバスに楽に乗り降りでき、バスを利用した移動の利便性や安全性の向上を図り、誰もが快適に暮らせるまちを目指すためには有効な事業です。	● 高 ○ 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	国が定める基本方針では、バス車両に対し平成32年度までに70%をノンステップバスに切り替えることを目標としていることから妥当性があります。	● 高 ○ 中 ○ 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input checked="" type="checkbox"/> その他	バス事業者に対し、平塚市バス利用促進等総合対策事業補助金交付要綱による補助を行い、効率的な導入を図っています。	● 高 ○ 中 ○ 低
今後に向けた課題の分析 国の方針に基づき、市においても平成32年度までにノンステップバス導入率70%を目標としていますが、バス事業者の車両更新に際して採算性等の課題もあるため、十分に協議を重ね計画的に導入を図る必要があります。また、広域連携や県の補助制度導入など負担の公平化等の検討も必要となります。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成23年度 決算額	平成24年度 決算額	平成25年度 決算額	平成26年度 予算額
事業内容		ノンステップバス導入の支援	ノンステップバス導入の支援	ノンステップバス導入の支援	ノンステップバス導入の支援
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0
	一般財源	6,380	8,550	6,834	15,675
事業費 (A)		6,380	8,550	6,834	15,675
執行率 (%)		83.95	100.00	100.00	
内訳	職員 (人)	0.24	0.40	0.30	0.35
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00
	人件費 (B)	1,945	3,206	2,385	2,735
フルコスト (A+B)		8,325	11,756	9,219	18,410

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成27年度の取組方針	<p>バリアフリー新法に基づく国の整備目標が示されたことから、市においても目標達成に向け導入台数を増やし、予算の平準化を図りながら計画的に進めていきます。また、県へ補助制度導入の要望を継続し、広域連携の検討など負担の公平化を図る方策を検討します。</p>
課長コメント	<p>誰もがいつでもどこへでも気軽に移動できるための手段の一つとしてノンステップバスの導入は必要な施策であり、目標達成に向けて継続していくべきものと考えます。平塚市バリアフリー基本構想に基づき計画的に導入を図る必要があります。</p>